

令和2年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況一覧

提案区	番号	項目	提案内容の概要	所管局	対応 ※一部対応含む
鶴見	1	急増する在住外国人の対応	1 行政・生活情報の的確な発信のための取組 2 様々な現場におけるICT環境の整備 3 国際交流ラウンジの機能強化と未整備区への段階的な設置	国際局	○
鶴見	2	中央児童相談所サテライト機能拡充による要保護児童への支援の強化	鶴見区内に中央児童相談所のサテライト機能を持つ事務所を設置	こども青少年局	—
鶴見	3	中距離電車(相鉄・JR直通線)停車の実現等、鶴見駅のターミナル機能強化	1 中距離電車・東海道貨物線を運用する電車の停車実現、ならびに停車できるようにホーム新設及び駅改良 2 歩行者デッキの整備による、JR鶴見駅と京急鶴見駅の良好なアクセス確保	都市整備局	○
鶴見	4	生麦ランプ入口の交差点周辺道路の交通渋滞の改善	現在の渋滞状況を把握し、予想される交通量に対し、何かしらの対応が必要な場合は、早急な渋滞改善に向けた検討	道路局	○
鶴見	5	鶴見川に架かる橋梁の整備	末吉橋～新鶴見橋間における人道橋新設	道路局	○
鶴見	6	都市計画道路等の早期整備	1 都市計画道路である「浜町矢向線」「岸谷線」「大田神奈川線」等の路線整備の推進 2 その他都市計画道路の整備	道路局	—
鶴見	7	大黒ふ頭客船ターミナル整備に伴う区内観光資源の活用及び経済活性化	1 区内観光スポットを回る観光ルートの設定 2 クルーズ旅客及び客船見学への鶴見区の魅力PR 3 大黒ふ頭へのアクセス向上	港湾局	○
鶴見	8	東部地域療育センターの外来診療枠の拡充及び地域支援部門の充実	東部療育センターの外来診療枠の増。保育園・幼稚園の巡回相談の増	こども青少年局	—
鶴見	9	放課後の留守家庭児童対策	1 開設に係る費用の補助金 2 施設賃貸料補助の基準額の引き上げ	こども青少年局	—
鶴見	10	鶴見公会堂天井音響更新工事	プロセミアムスピーカーの更新工事	市民局	—
鶴見	11	放置自転車対策	1 監視員配置委託 2 移動・撤去委託 3 花月園前駅及び国道駅における駐輪場利用推進策の実施	道路局	○
鶴見	12	シークレイン管理組合の修繕費用予算化	シークレイン管理組合の全体総会で提案された該当項目の費用を予算化し、修繕を実施	文化観光局 市民局 国際局	○
鶴見	13	区民利用施設におけるトイレ洋式化(寺尾地区センター・鶴寿荘)	既存の和便器を洋便器に更新	市民局 健康福祉局	○

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	国際局	鶴見区		区政推進課		
		担当者名	飯田	TEL	510-1676	
		共通区	全区			

継続年数	新規	添付資料
------	----	------

番号	提案種別	項目
1	予算関連	<input checked="" type="checkbox"/>
	制度関連	<input type="checkbox"/>
		急増する在住外国人の対応
		<p>◇地域の課題、基礎データ等</p> <p>鶴見区は、中区に次いで市内で2番目に外国人住民が多く(平成31年4月末現在:13,294人)、平成20年に「多文化共生宣言」を出すなど、「多文化共生のまちづくり」を進めてきました。区内の人口は、18区の中で最後となる、令和24年までの増加が見込まれており、その要因は、子育て世代の流入が続くこと等が考えられますが、この傾向は外国人住民も例外ではなく、最近では、外国人住民に対する子育て支援、教育環境・生活環境の整備・支援などが課題となってきました。</p> <p>平成30年12月の入管法改正により、今後、外国人住民の増加が続くことが見込まれているなかで、外国人住民への支援はもちろん、外国人住民の孤立化や、生活習慣の違いなどに起因する地域との分断を招くことがないようにするためには、外国人住民支援の核となっている鶴見国際交流ラウンジとの連携をしっかりと進めるとともに、区をあげて必要な取組を、一歩ずつ着実に進めて行くことが求められています。</p> <p>◇地域ニーズ等の収集手段</p> <p>■ 1 日常の窓口対応等 □ 2 市民からの提案等 □ 3 地区担当制 □ 4 地域懇談会等  □ 5 区民アンケート □ 6 区民要望 □ 7 関係団体からの要望  □ 8 その他 ( )</p> <p>◇区民からの具体的な要望</p> <p>近年の区内在住外国人の増加に伴い、国籍も多様化し、行政・生活全般の情報提供・相談の多言語対応の強化が求められています。また、鶴見国際交流ラウンジへの相談件数も増加し、ラウンジに対するニーズや期待も多くなっています。</p> <p>◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。</p> <p>「鶴見区多文化共生のまちづくり宣言」(平成20年6月)に基づき、言葉の壁や文化の違いを踏まえ、鶴見国際交流ラウンジとも連携しながら、外国人も日本人もいきいきと暮らせるまちづくりを進めています。また、多言語対応については、タブレット端末の導入等による窓口対応を進めるとともに、平成30年度から市立保育園4園にAI翻訳機を導入し、保護者や子どもとのコミュニケーションツールとして活用するなど、区民と職員の双方にとって有益となる取組を進めています。</p> <p>◇課題解決のための方策</p> <p>今後も増加が見込まれる在住外国人への対応を進めるにあたっては、在住外国人自身へのアプローチはもちろんのこと、地域や、区役所・区役所・保育所等行政の現場からの視点にも立った、より複合的なアプローチが必要です。</p> <p>また、各区に対する、国際局を中心とする支援や連携した取組を行うにあたっては、課題の顕在化の状況・程度を踏まえ、各区の事情に柔軟に対応できる枠組みとすることが必要です。</p> <p>1 行政・生活情報の的確な発信のための取組  外国人が安全・安心に暮らせるよう、わかりやすい行政情報の提供を行うとともに、必要な情報を入手しやすい環境を整えます。その際、18区で統一する部分と各区で個別化を図る部分は整理します。</p> <p>2 様々な現場におけるICT環境の整備  外国人にとって相談しやすい区役所となるよう、ICT機器の活用を拡充し、区役所窓口はもちろん、保育所をはじめとした区行政の様々な現場における対応力を強化します。</p> <p>3 国際交流ラウンジの機能強化と未整備区への段階的な設置  国際交流ラウンジは「多文化共生のまちづくり」を進めるうえで要となる施設であり、未整備区についてはその状況に応じて段階的に整備していく必要があります。また、整備済みのラウンジについては、在住外国人・地域・行政の橋渡しを行うコーディネーター機能をこれまで以上に発揮することができるよう、ラウンジの人的・財政的な基盤の強化などに取組みます。</p>
地域のニーズと解決策		
提案内容・概算額等		<p>1 行政・生活情報の的確な発信のための取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外国人の転入時等に配布する18区共通の案内、パンフレット類の翻訳の統一化</li> <li>来庁者に配布する案内物、窓口における届出・申請用紙等の多言語化</li> <li>外国人向けウェブページ、コンテンツの共有化(例:ごみ、防災関係など)</li> </ul> <p>2 様々な現場におけるICT環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>書類の確認等可視性ある機器(例:タブレット端末)と、現場等への可搬性ある機器(例:A I翻訳機)の、各区の状況に応じた柔軟な配備</li> <li>全18区庁舎および国際交流ラウンジへのWi-Fi環境の整備</li> <li>国際交流ラウンジの機能強化と未整備区への段階的な整備</li> <li>常勤の事業コーディネーター配置</li> </ul>
参考: 区執行体制上の課題		現行の体制で対応
局事業名		外国人材受入・共生推進事業
所管局課・担当者		国際局政策総務課 中井

◆局回答内容

国際局		政策総務課	
担当者名	中井	TEL	3826

対応の有無	対応する	既存制度の見直しを行う
対応する場合	<p>◇対応の内容</p> <p>今後も増加が見込まれる在住外国人への対応を進めるため、区役所窓口への通訳・翻訳機器の拡充及び、国際交流ラウンジの機能強化等を行います。</p>	
対応しない場合	<p>◇課題に対する局の考え方</p> <p>◇対応する場合の課題</p>	

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名: こども青少年局

鶴見区 こども家庭支援課
担当者名: 岩田 TEL: 510-1839
共通区

継続年数: 2年 添付資料

Main proposal form with columns: 番号, 提案種別, 項目. Includes details for '中央児童相談所サテライト機能拡充による要保護児童への支援の強化' and '地域のニーズと解決策'.

局回答内容

こども青少年局 こども家庭課
担当者名: 畠山 TEL: 671-2390

Response table with columns: 対応の有無, 対応しない, 制度化見送り. Includes '対応する場合' and '対応しない場合' sections.

### 令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	都市整備局	鶴見区		区政推進課		
		担当者名	新井、磯部	TEL	510-1677	
		共通区				
		継続年数	7年以上	添付資料		

番号	提案種別	項目
3	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	中距離電車（相鉄・JR直通線）停車の実現等、鶴見駅のターミナル機能強化
	制度関連 <input type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策	◇地域の課題、基礎データ等	
	<p>1 鶴見駅は一日平均80,000人弱の乗車人員があり（平成29年度）市内在来線では横浜・戸塚・大船に次ぐ規模（鶴見：80,904人、新子安：23,451人、東神奈川：36,690人、横浜：420,192人、保土ヶ谷：34,035人、東戸塚：58,780人、戸塚：111,725人、大船：98,695人）であるにもかかわらず、都心に向かう路線としては京浜東北線しか停車しません。また、京急鶴見駅は普通列車・エアポート急行のみが停車し、都心に向かう特急列車は停車しません。さらにJRと京浜急行の乗り換え動線も不十分であるなど、ターミナル機能の強化が求められています。</p> <p>2 中距離電車停車に関する要望活動は、昭和40年代から続けられ、平成24年度に実施された署名活動では、署名数は20,935名分に達しました。現在は住民や企業など各種団体の代表者からなる「鶴見駅中距離電車停車等推進期成会」が積極的に活動を進めています。直近では、平成31年2月にJR東日本に要望活動を行いました。</p>	
	◇地域ニーズ等の収集手段	
	<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他（ ）	
	◇区民からの具体的な要望	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中距離電車（相鉄・JR直通線）の鶴見駅停車実現</li> <li>・鶴見駅のターミナル機能拡充や利便性向上（JR鶴見駅と京急鶴見駅との良好なアクセス確保、羽田空港へのアクセス強化）</li> </ul>	
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画マスタープラン・鶴見区プランにて「安全・快適に動ける交通基盤づくり」に位置付けています。</li> <li>（鶴見駅中距離電車停車等推進期成会の事務局として要望書を取りまとめ、平成元年以降毎年JR東日本株式会社及び横浜市長あてに要望書を提出しています。）</li> </ul>		
◇課題解決のための方策		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴見区最大の交通拠点である鶴見駅周辺のターミナル機能を強化するため、次に掲げる鉄道整備事業等を推進する必要があります。</li> <li>（1）鶴見駅に、中距離電車・東海道貨物線を運行する電車（将来の相鉄・JR相互乗り入れ路線を含む）の停車実現、ならびに停車できるようにするためのホーム新設及び駅改良</li> <li>（2）中距離電車停車による駅舎改良に合わせた歩行者デッキの整備による、JR鶴見駅と京急鶴見駅との良好なアクセス確保</li> </ul>		
提案内容・概算額等	(1) 事業化に向けた検討調査費 千円	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名	鉄道計画検討調査	
所管局課・担当者	都市整備局都市交通課：野上係長、池田 都市整備局企画課：原田係長、森	

◆局回答内容

都市整備局		都市交通課	
担当者名	原田、森野上	TEL	671-2022 671-2722

対応の有無	対応する	既存の事業で対応する
対応する場合	◇対応の内容	
	<p>京浜臨海部における通勤環境の改善等に向けた交通機能の充実強化について検討を実施します。（企画課）</p> <p>中距離電車停車については、過年度より鉄道事業者と連携して、検討を進めており、引き続き、鉄道計画検討調査費で対応していきます。（都市交通課）</p>	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

### 令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	道路局
------	-----

<b>鶴見区</b>		区政推進課 土木事務所	
担当者名	新井、磯部 吉村	TEL	510-1677 510-1671
共通区			

継続年数	新規	添付資料
------	----	------

番号	提案種別	項目
4	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	生麦ランプ入口の交差点周辺道路の交通渋滞の改善
	制度関連 <input type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策		◇地域の課題、基礎データ等
		生麦ランプ入口交差点周辺道路（左記交差点を中心とした、産業道路～国道15号方面、産業道路～神奈川産業道路方面、岸谷生麦線出入口付近等）は朝夕と慢性的な交通渋滞が発生しております。令和3年度に北西線が供用開始することにより今後更なる交通量増加が懸念されます。また令和7年度に供用開始予定の東部方面斎場（仮称）整備にも支障がでると懸念されます。
		◇地域ニーズ等の収集手段
		<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input checked="" type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他（    ）
		◇区民からの具体的な要望
		・首都高生麦ジャンクション入口付近交差点における渋滞の緩和
		◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。
		渋滞の改善に向けて区内でも検討を進めてきましたが、京浜臨海部の交通ネットワーク全体に関わる問題のため、区だけの対応は難しい状態です。
		◇課題解決のための方策
		今後の交通量の増加に備え、現在の渋滞状況を把握し（交通量調査等）、予想される交通量に対し、早急な渋滞改善に向けた検討をお願いします。
提案内容 ・ 概算額等	鶴見区臨海部周辺道路網に関する交通量調査及び検討調査費 ■■■■■ 千円	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名		
所管局課・担当者	道路局企画課：周治係長、原 道路局横浜環状道路調整課：小野澤係長 道路局事業推進課：坂入係長	

#### ◆局回答内容

<b>道路局</b>		企画課 横浜環状道路調整課 事業推進課	
担当者名	周治、原（企画課） 小野澤（横浜調整課） 坂入（事業推進課）	TEL	671-2777（企） 671-2780（横） 671-3533（事）

対応の有無	対応する	その他
対応する場合	◇対応の内容	
	生麦ランプ入口から岸谷生麦線方面への渋滞緩和については、既存の交通量調査の結果をもとに、交通管理者と歩行者用灯器の表示時間の変更について協議を行い、令和元年8月1日に変更しました。また、生麦ジャンクション入口付近における交通の状況を確認していきます。（横浜環状道路調整課、企画課、事業推進課）	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

### 令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	道路局
------	-----

鶴見区		区政推進課	
担当者名	新井、磯部	TEL	510-1677
共通区			

継続年数	7年以上	添付資料	
------	------	------	--

番号	提案種別	項目
5	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	鶴見川に架かる橋梁の整備
	制度関連 <input type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策	◇地域の課題、基礎データ等	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・末吉橋～新鶴見橋間には、昭和29年から川崎市所有の基幹施設を人道橋として利用されていましたが、平成27年度に橋梁の耐力不足や経年劣化から撤去され住民の利便性・安全性は低下しています。</li> <li>・末吉橋～新鶴見橋間は、道路局の「鶴見川中下流域の橋梁間隔短縮検討調査」により、橋梁新設の必要性の高い区間として選定されています。</li> </ul>	
	◇地域ニーズ等の収集手段	
	<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ( )	
	◇区民からの具体的な要望	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・末吉橋～新鶴見橋間に橋梁を早急に整備してほしい。</li> </ul>	
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。		
道路局に対し要望を伝える等、適宜調整を行っています。		
◇課題解決のための方策		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・末吉橋～新鶴見橋間について、(仮称)鶴見川人道橋整備事業(平成30年3月方針決定)に基づき人道橋を新設するための事業費を確保する。</li> </ul>		
提案内容・概算額等	調査費・設計費・工事費等	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名	(仮称)鶴見川人道橋整備事業	
所管局課・担当者	道路局橋梁課 根本係長	

#### ◆局回答内容

道路局		橋梁課	
担当者名	根本	TEL	671-2789

対応の有無	対応する	既存の事業で対応する
対応する場合	◇対応の内容	
	設計、測量、調査に係る費用を計上します。	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

### 令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査書

所管局名	道路局
------	-----

鶴見区		区政推進課	
担当者名	新井、磯部	TEL	510-1677
共通区			

継続年数	7年以上	添付資料	
------	------	------	--

番号	提案種別	項目	
6	予算関連	<input checked="" type="checkbox"/>	
	制度関連	<input type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策		◇地域の課題、基礎データ等 ・鶴見区内の都市計画道路の整備率は、平成31年3月現在で61.3%と18区中12番目であり（1番西区98.0%、18番栄区41.7%）、早期の整備が望まれています。 ・特に、区を南北に分断する鉄道等（JR、京急）を、踏切を使用することなく横断できる都市計画道路は、高さ制限のある「鶴見溝ノ口線」と平成28年度末に完成した「岸谷生麦線」だけであり、新たな都市計画道路を整備する必要があります。 ◇地域ニーズ等の収集手段 <input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他（ ） ◇区民からの具体的な要望 ・踏切を使用することなく線路を横断できる都市計画道路の早期整備。 ・平成25年度まで「まちづくり推進会議」で、都市計画道路の整備を含む鶴見駅周辺の機能強化を、市に対して要望しています。 ◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。 横浜市都市計画マスタープラン・鶴見区プランにおいて、都市計画道路等の整備を目標に挙げています。 ◇課題解決のための方策 (1)都市計画道路となっている「浜町矢向線」「岸谷線」「大田神奈川線」等の区内の交通環境改善するために検討されている路線整備の促進 (2)その他都市計画道路の整備	
		提案内容 ・概算額等	調査費・設計費・整備費
		参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応
		局事業名	都市計画道路大田神奈川線の整備
		所管局課・担当者	道路局企画課 周治係長、原道路局事業推進課 坂入係長

#### ◆局回答内容

道路局		企画課 事業推進課	
担当者名	周治、原（企画課） 坂入（事業推進課）	TEL	671-2777（企） 671-3533（事）

対応の有無	対応しない	予算化見送り
対応する場合	◇対応の内容	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方 平成28年3月に公表した「都市計画道路の優先整備路線」において、浜町矢向線の国道1号線以南及び、大田神奈川線の二ツ池公園付近から鶴見北寺尾線までの区間は優先的に事業着手する路線としています。他の事業中路線の進捗状況等を見ながら効率的、効果的な整備を検討し、順次事業化を図っていきます。岸谷線については平成20年5月に公表した「都市計画道路網の見直し」において変更候補路線としています。引き続き都市計画の方向性が整理できた段階で検討や調整を進めていきます。	
	◇対応する場合の課題	

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	港湾局	鶴見区		区政推進課	
		担当者名	飯田、加藤	TEL	510-1676
		共通区			
		継続年数	2年	添付資料	

番号	提案種別	項目
7	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	大黒ふ頭客船ターミナル整備に伴う区内観光資源の活用及び経済活性化
	制度関連 <input type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策	◇地域の課題、基礎データ等	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・超大型客船受入のため、大黒ふ頭にCIQ施設が整備されました。</li> <li>・超大型客船寄港を海外観光客への鶴見区の魅力発信の契機と捉え、区内観光スポットへの誘客等による市内経済活性化が求められています。</li> </ul> <p>【参考】大黒ふ頭への客船入港予定 (R01.5現在)</p> <p>H30…合計11回：MSCスプルンディガ (定員4,363名) 計9回            /クアンタム・オブ・ザ・シーズ (定員4,180名) 計2回</p> <p>H31…合計25回：MSCスプルンディガ 計10回 / クイーン・エリザベス (定員2,068名) 計3回 他</p>	
	◇地域ニーズ等の収集手段	
	<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ( )	
	◇区民からの具体的な要望	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴見区の魅力を伝える人材養成講座の受講生や地域団体からは、大黒ふ頭への超大型客船寄港をチャンスと捉え、既存の観光資源とも結びつけ、観光客の区内回遊性を高める観光誘致をすべきとの声があります。</li> <li>・4月19日及びゴールデンウィーク中の大黒ふ頭への客船着岸に併せて港湾局が実施した客船見学会では、一部日程で地元商店による飲食・物販ブースや鶴見区紹介ブースを出展し、区の魅力をPRしました。イベントには市内外から多数参加しましたが、出店者からはクルーズ旅客に向けてもPRすべきとの声がありました。</li> <li>・大黒ふ頭への交通手段として、市営バスの便数が少ないことや自家用車駐車場の確保など、大黒ふ頭を観光誘致の拠点とするためにはアクセス面の整備が必要です。</li> </ul>	
	◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・24年度から継続して区運営方針「主な事業・取組」に「『千客万来つるみ』プロモーション事業」を位置付け、区外からの誘客に積極的に取り組んでいます。</li> <li>・4月19日及びゴールデンウィーク中の大黒ふ頭への客船着岸に併せて港湾局が実施した客船見学会では、一部日程で地元商店による飲食・物販ブースや鶴見区紹介ブースを出展し、区の魅力をPRしました。</li> <li>・港湾局が実施する「クルーズ旅客を通じた市内経済活性化プロジェクト」への提案など、適宜調整を行っています。</li> </ul>	
	◇課題解決のための方策	
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 区内観光スポットを半日ないしは一日で回る観光ルートの設定 例) ・大本山總持寺での拝観・座禅・写経・精進料理体験 ・キリンビール横浜工場・東京ストロベリーパークなど臨海部の施設訪問 など</li> <li>2 クルーズ旅客及び客船見学等を目的とした区外からの来訪者へのおもてなしを通じた鶴見区の魅力PR 例) 客船着岸時、ふ頭での区内物販販売、区内観光スポット紹介 など</li> <li>3 大黒ふ頭へのアクセス向上 例) 鶴見駅発着シャトルバスの運行、客船寄港時の大黒ふ頭方面行き市営バスの臨時増便など</li> </ol>	
提案内容・概算額等	観光ルート設定、ふ頭でのPR、アクセス面の改善に向けた区局で連携した企画・調整	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名	クルーズ旅客を通じた市内経済活性化推進事業/大黒ふ頭自動車専用船岸壁改良 (客船施設) /スカイウォークの利活用	
所管局課・担当者	港湾局客船事業推進課 村木	

◆局回答内容

港湾局		客船事業推進課	
担当者名	村木	TEL	671-7272

対応の有無	対応する	既存の事業で対応する
対応する場合	◇対応の内容 船会社へのツアー造成の提案、スカイウォーク無料開放の継続、GWなど客船寄港時のアクセス強化	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	



令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査書

所管局名: こども青少年局

鶴見区 子育て支援課
担当者名: 斉藤
TEL: 510-1837
共通区: 神奈川区

継続年数: 新規
添付資料

Main survey form with columns: 番号, 提案種別, 項目. Includes details for '東部地域療育センターの外来診療枠の拡充及び地域支援部門の充実' and '地域のニーズと解決策'.

局回答内容

こども青少年局 障害児福祉保健課
担当者名: 安田
TEL: 671-4276

Response table with columns: 対応の有無, 対応しない, 予算化見送り. Includes '対応する場合' and '対応しない場合' details.

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名: こども青少年局

鶴見区: こども家庭支援課
担当者名: 森 TEL: 510-1886
共通区:

継続年数: 新規 添付資料:

Main proposal form with columns: 番号, 提案種別, 項目. Includes details for '放課後の留守家庭児童対策' and '地域のニーズと解決策'.

局回答内容

こども青少年局: 放課後児童育成課
担当者名: 中澤・土橋 TEL: 671-4446

Response table with columns: 対応の有無, 対応しない理由, 対応する場合, 対応しない場合.

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	市民局	鶴見区		地域振興課	
		担当者名	高橋	TEL	510-1693
		共通区			

継続年数	新規	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
10	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/> 制度関連 <input type="checkbox"/>	鶴見公会堂天井音響更新工事
地域のニーズと解決策	◇地域の課題、基礎データ等 鶴見公会堂の講堂の天井に埋め込まれたプロセミアムスピーカー（音響設備）は、開館以来更新しておらず、経年劣化による音質劣化が著しく、特に、左のスピーカーは高音が出ない、低音がこもるといった不具合が発生しており、音楽関連のイベントの実施が危ぶまれる状況です。現在は、これ以上の劣化を防ぐため、音量の制限を行って延命措置をしていますが、点検業者からは音が突然出なくなる可能性も指摘されており、一刻も早い更新が必要です。鶴見区には音楽施設として鶴見区民文化センター（サルビアホール）もあるが、公会堂は安価に利用できることから区民に親しまれており、稼働率は高く、区を代表する文化団体の「邦楽連盟」なども毎年公会堂でイベントを開催しており、音楽関連イベントでの利用者も非常に多いです。利用者には、事前打ち合わせの段階で、スピーカーの音質が劣化していることを伝え、利用してもらっています。  【平成30年度実績】 講堂利用件数：年間 288件（稼働率83%） 音楽関連イベント（映画、演劇、音楽、芸能分野）数：年間197件	
	◇地域ニーズ等の収集手段 <input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> 8 その他（指定管理者からの相談）	
	◇区民からの具体的な要望 利用者から「音が悪い」や「前回利用した時より音量が出ていない」といったご意見をいただいています。	
	◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。 施設の指定管理者から相談を受け、建築局保全推進課に技術相談票を提出して、専門的なアドバイスを仰いだ。「更新が必要だが、長寿命化工事では対応できない」との回答がありました。	
	◇課題解決のための方策 プロセミアムスピーカーは、設置からすでに30年近くが経過し、修理部品はないため修繕は不可能です。機器の更新が必要です。	
	提案内容・概算額等 令和2年度のプロセミアムスピーカーの更新工事。令和4年度に予定されている天井落下防止工事前に音が出なくなってしまう可能性もあるため、来年度の実施を希望します。予算概算額算出のため、建築局営繕企画課に下調を依頼済みです。	
	参考：区執行体制上の課題 現行の体制で対応	
	局事業名	
	所管局課・担当者 市民局 地域施設課 山下 雅彦（公会堂担当） 寺林 琢（天井脱落防止工事担当）	

◆局回答内容

市民局		地域施設課	
担当者名	寺林	TEL	671-2086

対応の有無	対応しない	予算化見送り
対応する場合	◇対応の内容	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	令和4年度に予定されている天井改修工事に合わせて検討を行います。	
	◇対応する場合の課題	

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名 道路局

鶴見区 地域振興課
担当者名 曾我、福田 TEL 510-1687
共通区

継続年数 7年以上 添付資料

Form with multiple sections: 11 放置自転車対策, 地域のニーズと解決策, 提案内容・概算額等, 参考: 区執行体制上の課題, 局事業名, 所管局課・担当者

局回答内容

道路局 交通安全・自転車政策課 施設課
担当者名 寺田(交・自課) 水戸(施設課) TEL 671-3644(交) 671-2732(施)

Table with 3 columns: 対応の有無, 対応する, 既存の事業で対応する. Includes sections for 対応する場合 and 対応しない場合.

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名 文化観光局・市民局・国際局

鶴見区 地域振興課
担当者名 風間・長谷川 TEL 510-1691
共通区

継続年数 新規 添付資料

Table with 2 columns: 提案種別 (予算関連, 制度関連) and 項目 (シークレイン管理組合の修繕費用予算化). Includes detailed text about regional issues and solutions.

局回答内容

文化観光局 文化振興課
担当者名 松崎 白石 TEL 671-3504

Table with 2 columns: 対応の有無 and 対応する/対応しない場合. Content includes '対応する' and '既存の事業で対応する'.

局回答内容

市民局 地域施設課
担当者名 安見 TEL 671-2328

Table with 2 columns: 対応の有無 and 対応する/対応しない場合. Content includes '対応する' and '既存の事業で対応する'.

局回答内容

国際局 政策総務課
担当者名 各務 中井 TEL 671-3826

Table with 2 columns: 対応の有無 and 対応する/対応しない場合. Content includes '対応する' and '既存の事業で対応する'.

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	市民局（寺尾地区センター）、健康福祉局（鶴寿荘）	鶴見区		地域振興課	
		担当者名	風間・清水・高橋	TEL	510-1693
		共通区			

継続年数	新規	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
13	予算関連	<input checked="" type="checkbox"/>
	制度関連	<input type="checkbox"/>
<p>区民利用施設におけるトイレ洋式化(寺尾地区センター・鶴寿荘)</p> <p>◇地域の課題、基礎データ等 (現在の状況) 1 利用者の高齢化に伴い、和便器を洋便器に変更してほしいとの要望が、利用者からたびたび出されている。 2 特に膝の具合が悪い利用者にとって、和便器の使用は身体的な負担が大きい。 3 洋便器は各施設に一定数あるものの、需要に対して設置数が足りない状況にある。</p> <p>【入館者数実績（平成30年度）】 寺尾地区センター：209,612人(うち65歳以上：95,812人)、鶴寿荘：71,503人 ※寺尾地区センターと鶴寿荘（老人福祉センター）は合築施設です。（昭和63年設立）</p> <p>【便器設置状況】 寺尾地区センター：洋便器（4か所）、和便器（3か所）、鶴寿荘：洋便器（4か所）、和便器（4か所）</p> <p>◇地域ニーズ等の収集手段 <input checked="" type="checkbox"/>1 日常の窓口対応等    <input type="checkbox"/>2 市民からの提案等    <input type="checkbox"/>3 地区担当制    <input type="checkbox"/>4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/>5 区民アンケート    <input type="checkbox"/>6 区民要望    <input checked="" type="checkbox"/>7 関係団体からの要望 <input checked="" type="checkbox"/>8 その他（指定管理者や鶴見区選出議員からの相談）</p> <p>◇区民からの具体的な要望 とりわけ高齢利用者から洋式化してほしいという要望が出されています。</p> <p>◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。 施設スタッフに適宜トイレの見回りや注意喚起をお願いするなど、できる限りの対応を行っていますが、こういった対応は根本的な課題解決にならないため、重大事故につながるリスクを常に抱えている状況にあります。</p> <p>◇課題解決のための方策 利用者の高齢化に伴い、今後もさらに洋式化への要望が強くなることが予想されます。転倒による負傷事故など重大な事案を未然に防ぐとともに、公共施設としてバリアフリーの範を示すことが必要と考えます。</p>		
提案内容・概算額等	寺尾地区センター（和便器3か所）・鶴寿荘（和便器4か所）のトイレ洋式化	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名		
所管局課・担当者	市民局地域施設課 鈴木恵（地区センター担当） 健康福祉局高齢健康福祉課 丸山潤一（老人福祉センター担当）	

◆局回答内容

市民局		地域施設課	
担当者名	山下、鈴木	TEL	671-2086

対応の有無	対応しない	予算化見送り
対応する場合	◇対応の内容	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方 利用者の高齢化に伴うバリアフリー対策としてのトイレの洋式化は必要であると認識していますが、財政状況が厳しい中、R2年度の予算措置については困難です。	
	◇対応する場合の課題	

◆局回答内容

健康福祉局		高齢健康福祉課	
担当者名	深野・丸山	TEL	671-3920

対応の有無	対応する	予算対応する
対応する場合	◇対応の内容 全てのトイレが洋式化されることで、和服着用の利用者にとって利便性が損なわれる可能性があります。そのことについて区と協議し、一部のトイレについては和式のまま残す等の対応を行うこともあります。	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	